

あさひ小学校月山登山

8月22日(金) 鶴岡市あさひ小学校6年生25名、保護者19名、教師及びスタッフ13名の計57名で、月山(標高1,984m)登山を実施しました。

経緯は、鶴岡市朝日地区の大泉小学校が、朝日小学校に統合され、校名も「あさひ小学校」となり、学校として新たな行事を取り組むひとつに、今年度初めての月山登山を企画し、サポート役として当センター職員への協力要請があったものです。



全員無事山頂に着きました

しかし、月山エリアは、通常当センターの巡視業務エリア外でしたが、地元の小学校からのお願いということで、サポーターとして参加しました。

登山口の8合目に到着した時は、夏の日射しが照りつける快晴でしたが、標高が上がると気温は次第に低くなり、山頂付近では、月山特有の白い霧に覆われました。しかし、生徒さんたちが大きな歌声を上げながら下山すると、不思議なことに霧が晴れ、足運びも軽快に無事全員下山することができました。

子供さんの飲料水を担いだ保護者のみなさん、大変おつかれさまでした。



足場の悪い歩道を進みます

庄内森とみどりのフェスティバル

10月18~19日(土、日)、鶴岡市小真木原公園、26日(日)、酒田市中町商店街にて、「庄内森とみどりのフェスティバル」が開催され、当センターも参加しました。

実施日の3日間、いづれも快晴に恵まれ、雨天であった昨年度に比べると、たくさんの市民の方が会場にいられました。

今年度の当センターブースでは、主に子供さんを集客し、その保護者の方に、朝日山地に関するアンケートやクイズ、写真審査を実施していただく方向で臨みました。

まずは、ブース手前の道路入口では、新企画の「松ぼっくり釣り」を行い、気軽に楽しんでいただいた後は、雪崩方式で市民の方を呼び込むことに成功。その後は、松ぼっくり、ドングリ、枝や花台などを手に取り、思いおもしろい木工品づくりを楽しんでいただき、常に賑わいのあるブースにすることができました。



朝日山地の写真19点を掲示

また、朝日山地の写真展示については「いい写真だね」「パワーがもらえます」等のご意見をいただき、巡視員の方及び局署並びにセンター職員のかいた汗に対し、ねぎらいの言葉として心に響きました。

今後は、ご回答いただいたアンケートを整理し、ご意見を反映できるよう、来年度の業務方針を考えていきたいと思ひます。



新企画「松ぼっくり釣り」に夢中です

新企画「松ぼっくり釣り」に夢中です



朝日山地の概要を市民へ説明中



第 1 5 号
平成26年 11月発行

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合 3

TEL : 0235-58-1730

FAX : 0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@rinya.maff.go.jp

Home Page: http://www.rinya.maff.go.jp/to

hoku/syo/asahi/

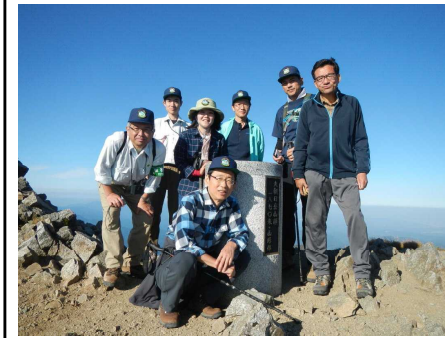
朝日山地森林生態系保護地域合同パトロール



マナー啓発のお願い

今年度の合同パトロールは、9月27日(土)~28日(日)の日程で、大朝日岳(標高1,870m)コースと障子ヶ岳(標高1,481m)コースの2コースで実施しました。

本パトロールは、朝日山地森林生態系保護地域の保全と適正な管理を目的に、東北局職員及び巡視員との合同による森林生態系の異常の有無等(高山植物の盗掘、踏み荒らし、登山道の荒廃や危険箇所の確認、森林病虫害の被害など)を確認するとともに、入山者に対するマナー啓発指導(パンフレットの配布含む)などを実施しています。



大朝日岳山頂

大朝日岳方面は飛山局長、林計画課長をはじめ、巡視区域の高野山形署長、小川置賜署長、及び両署職員とセンター職員の8名で実施しました。

両日ともに8時間以上にわたるハードなパトロールでしたが、天候にも恵まれ、入山者からのご理解と励ましなどもいただき、無事実施することができました。



マツノクロホシハバチ生息調査

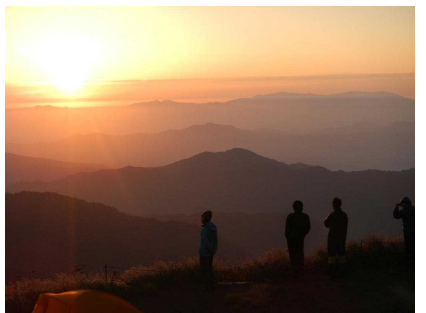
障子ヶ岳方面は、9月27日(土)のみの日帰りコースでしたが、歩行時間10時間の長丁場でした。

滝川巡視員、五十嵐首席森林官、小倉専門官の3名で実施しました。急傾斜箇所等のポイントには、ロープが設置されており、安全措置がなされていました。マツノクロホシハバチの生息は確認できませんでした。

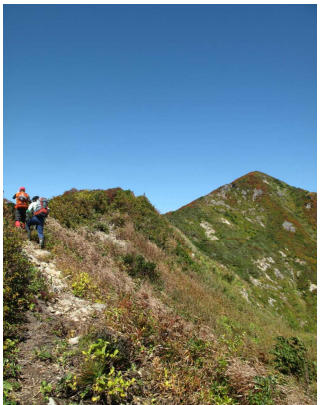
登山客へのマナーパンフレットの配布や、森林生態系保護地域表示プレートの状況を確認しながら、無事全員下山しました。ご協力いただいた方々に感謝いたします。



縦走巡視



大朝日岳山頂からのご来光



障子ヶ岳

みどいの保育園

○みんなで歌おうクロマツの歌

9月3日（水）、酒田市西荒瀬保育園周辺のクロマツ林内にて、地元の日和山楽団の方々を招き、合唱会を実施しました。

園児さんたちは、日頃練習している「クロマツの歌」や「庄内米のうた」を披露、クロマツ林の中は元気いっぱいの声で満ちあふれました。

また、楽団のみなさんの楽器の生演奏に、園児さんたちは耳を澄ましていました。

合唱会が終わったあとの園児さんたちの顔は、みな生き活きとしており、とても有意義な一日でした。



クロマツ林で元気に歌いました

○鳥海高原での森林環境教育

10月3日（金）、山形県公益の森づくり支援センターの白壁洋子さんによる鳥海高原での森林環境教育を実施しました。

当日は、あいにくの雨により、森林散策は行えませんでした。鳥海イヌワシみらい館での野鳥についての説明や、イメージキャラクターの「ワッシーくん」とふれあったり、白壁さん



はっぱカルタ

とセンター職員が雨の中集めてきた葉っぱを使い、「はっぱカルタゲーム」や、「動物ジェスチャーゲーム」などを行いました。「はっぱカルタゲーム」では、子供たちの反応が非常に機敏で、興味深い催しだったことが分かりました。

今後も森林との関りを通じて、健やかに育って欲しいと願っています。



ワッシーくんと記念写真

○木製プランターづくりと山取種の植付け

10月23日（木）、前回鳥海高原で集めたミズナラ等の種を植えるための木製プランター作成から、種の植え付けに係る指導を実施しました。

最初に園児さんたちに、木はどんな匂いがするのか木の板の匂いを嗅いでもらいました。その後、8班に分かれて、釘を打ってプランターを作りました。力のある園児は、釘が曲がるほど強くカナヅチで叩いていました。

プランターが完成すると、今度は思いおもいに絵を書いてもらい、土を投入した後、ミズナラ、グミ、アケビなどの種を植えました。

春にキノコの駒打ちを行った時に比べると、とても上手にカナヅチを真っ直ぐ下ろすことができるようになり、成長の早さに驚きました。

季節は、これから冬に向かい、屋内中心の森林環境教育となりますが、ケガの無いよう、細心の注意を払い、計画どおり実施していきたいと思ひます。

ミズナラ、グミ、アケビなどの種を播きました



大きなカナヅチで無心に釘を打ってます

朝日自然塾4 白布平とイワナ釣り体験！

9月13日（土）、山形市、米沢市、天童市、白鷹町、小国町から小学生親子・一般の方12名が参加して、小国町の2カ所のフィールドで開催しました。

受付前には、近くの木にニホンザルが現れ、クリの実を美味しそうに口いっぱいにはおぼって見せるなどのお出迎えを受けました。

開会式では所長から「美しいブナ林は、豊かな水を私たちに与えてくれるとともに、この荒川の清流に沿って生育・生息する動植物たちにとっても欠かすことの出来ない大切なものです。今日は、この『朝日山地森林生態系保護地域』の中での活動です。今日一日、豊かな自然のブナ林を思う存分満喫して下さい。」とあいさつがありました。

1. イワナ釣り入門・体験

午前中は曇り空の絶好の釣り日よりの中で、山形県溪流釣り協議会の講師から、川のルールとマナーや「イワナを育む溪流沿いの森林（溪畔林）は、年間を通じてきれいで栄養や水量が豊富な水が流れ、また、森林から落ちる葉は昆虫の餌や隠れ家となります。実際に釣り体験しながら一つ一つ体験していきましょう。」と説明を受けると子供たちはよるこんで思い思いの場所で釣りを始めました。

2. 生きたイワナのさばき方教室

講師からは2つの特別な方法によるさばき方を教えていただきました。大人も体験し、「手をあまり汚さない、こんな素早いさばき方を初めて見ました。」など感嘆の声も聞かれました。

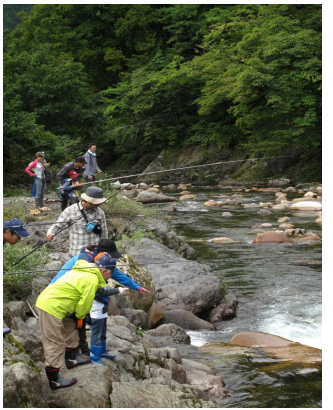
3. 針生平の森林散策

午後は降雨のため吊橋の板が滑って危ないと判断して、森林散策場所を白布平から針生平周辺に変更して実施しました。途中の川原では昔遊びとして小国の自然を守る会の講師から「笹舟づくり」や「葉っぱのひしゃくづくり」を体験しました。

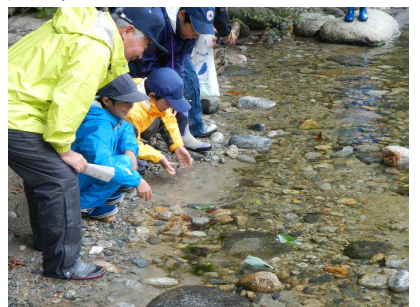


ブナ林散策で測樹中

また、ブナの二次林では、ブナを自分たちで測り、推定林齢を調べたりしました。さらに、山形県猟友会の講師から奥にあるブナを伐採していない境目で、二次林との違いを自分の目で見て学んだり、食べれるキノコなども教えてもらいました。スタッフや地域の皆さんのおかげで、有意義で楽しい一日となりました。ありがとうございました。



大物狙うぞ



笹舟を作り、流しました



釣り、森林散策、とても楽しい日でした

緑の回廊 土湯の森

○植生モニタリング調査

10月22日（水）、平成19年度から実施して第8回目となる山形大学農学部による植生モニタリング調査を、地元住民の方、山形県、戸沢村、自然保護団体、最上支署の協力のもと27名で実施しました。当日は雨が今にも降りそうな天気でしたが、調査中に降雨は無く、効率的に調査を終了することができました。

毎年度ご足労いただいている山形大学農学部の小山教授はじめ学生のみなさん、そして協力をいただいている方々に感謝します。



山形大学生による植生モニタリング調査